

法人名	公益財団法人大阪国際平和センター
-----	------------------

○ 令和4年度の経営目標達成状況及び令和5年度経営目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R4 ウエイト	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値 〔見込値〕	R5 目標値	R5 ウエイト	中期経営計画 (R2～R8)		R5目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
										R5 目標値	最終年度 目標値	
① 平和学習の推進	府内小中学校来館率 <small>(ピースおおさかに来館した府内公立小中学校数/府内全公立小中学校数)</small>		%	20	16.2	16.7	27.8	29.4	20	30.7	31.0	平和学習施設としての役割を果たすという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基礎に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。
	学校関係へのPR		回	10	23	25	25	30	10	30	30	上記目標を達成するために効果的であるという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基礎に設定。
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											戦略目標達成のための活動事項	
最重点とする理由、経営上の位置付け	<p>○当法人は、①大阪空襲犠牲者を追悼し、平和を祈念する ②空襲を中心に大阪の人々の戦争体験に関する情報・資料の収集、保存、展示する ③戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代に伝え、平和を願う豊かな心を育み、世界の平和に貢献することを目的とし、平成27年4月に「大阪中心」に「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えることができる展示」にリニューアルし、主に平和学習施設として運営している。</p> <p>○先の大戦を自らの体験として語れる人は少なくなる一方、平和学習施設として平和の尊さを次世代へ伝えるべく、府内小中学校へ働きかけ、1校でも多くピースおおさかを利用してもらうことを最重点目標とする。</p>											
最重点目標達成のための組織の課題、改善点	<p>○当財団の運営費のほとんどは府市の補助金に依拠しているが、平成20年の財政再建プログラム案において「府派遣職員は必要最小限」とされ、それ以降の補助金の減額も相まって、組織体制、事業展開とも極めて厳しい状況にあり、限られた人員・資源を生かした効果的な運営が求められている。</p> <p>○府内の公立小中学校については、エリアごとによってピースおおさかへの来館率にばらつきがあり、来館率の低いエリアへの効果的な働きかけが必要である。</p> <p>○カリキュラムや業務の増加により、教員の平和学習の機会が減少しており、教員に向けた積極的なPRが必要である。</p>											
活動方針	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に留意しつつ、学校等への働きかけを行い、府民等への平和学習機会の充実を図る。</p> <p>※新型コロナウイルスの影響 新型コロナウイルスが感染症法上の5類に位置付けされることから、行動制限による来館者の減少といった影響は少なくなる見込みである。一方で生活様式の変化に合わせ、入館制限など感染防止対策を適切に講じた上での運営が必要であることから、各項目ごとに新型コロナウイルスの影響を考慮し、目標値を以下のとおり設定する。 なお、今後の状況を踏まえ、必要な場合は、目標値を見直すこととする。</p> <p>[目標値の設定] ・新型コロナウイルスの影響がほとんど見込まれない項目については、中期経営計画の目標値を設定する。 ・引き続き新型コロナウイルスによる影響の可能性のある項目については、令和4年度の実績を踏まえ、中期経営計画との中間値、又は関連する他の項目の目標値を踏まえた値を目標とする。 ・令和4年度に目標数値が達成されなかった項目は、減少傾向にある要素の分析から、今年度も生活様式の変化による影響を受けるとみられるため、令和4年度の目標と同じ数値を目標とする。</p>											
											<ul style="list-style-type: none"> ・市町村教育委員会や校長会等におけるPRの実施 ・貸出資料や語り部の派遣等の平和学習の利用促進 ・講堂や会議室の利用の促進、教員等による平和や人権研修の誘致 ・定時映画の上映、見学ワークシートの提供、戦跡めぐりなど、教員の平和学習のサポートに取り組む ・生活関連資料データベースを活用し、ホームページで活用できる仕組みを検討 ・戦争体験証言映像のアーカイブ化(R4年度中に映像撮影、R5年度に活用方法の検討) ・学校の来館時期の分散化への取り組み ・学校教員向けのアンケートによる効果的な平和学習のニーズの把握 	